



もうすっかり冬ですね。さすがに寒くなってきました。皆さんお元気でしょうか。私は毎日の天気にとても悩んでいます。なぜならば私は寒がり、日本にはドイツのように集中暖房設備がないからです。我慢できるかどうか、どのくらいの気温になるか、朝目覚まし時計が鳴るとどんな寒さを感じるか...と考えています。

ドイツもすっかり寒くなりました。今年は10月の下旬にミュンヘンで初雪が降りました！その時両親と電話で話しましたが、母は寒さに弱い花を家の中に入れ、庭にある池には防寒準備をして、全国暖房のシーズンが始まったそうです！そして、10月28日からは冬時間となり（毎年10月の最終日曜日からです。夏時間は毎年3月の最終日曜日からはじめます）、日本との時差はマイナス8時間と替わりました。いよいよ冬の到来ですね。

冬の朝、職場に着くと「寒いですね、でもドイツの方がもっと寒いですよ。」というのがほとんど毎日の挨拶になっています。「うーん...」と唸ってしまいます。ドイツの冬はもちろん日本よりかなり寒いけれど、壁がある屋根付の建物であれば、ちゃんとしたヒーティングシステムが設置されています。ですから部屋の中ではダウンではなく、半袖で過ごせます。

皆さん、今年の冬も体に十分気をつけて、風邪をひかないようにしましょう！



今月の『ちよつと一言』



夏でも冬でも、気温が極端な季節になってくると、日本人はよく「暑い！」または「寒い！」と、ため息まじりに言いますよね。でも、毎回毎回言わなくていいですよ。(^_^)それは季節の流れですから、当たり前のことです。ただ、ドイツでは冬にスカートの人はいません。あまり「寒い、寒い。」ばかり言っているとドイツ人に「冬にふさわしい服装をすれば寒いことはない！」と一喝されてしまいますよ。あなたも誰かに言ってみませんか？

今月の『これ知ってる？』



ドイツではもう11月末からクリスマスの準備期間「アドヴェント」が始まり、ドイツの子供たちはまず12月6日にプレゼントをもらいます。これは日本にはない習慣なので皆さんにお話ししたいと思います。

12月6日の朝、子供たちは目覚めるとすぐにドアの前に置いた長靴の中を覗きます。長靴の中にはチョコレートやみかん、ナッツなどがいっぱい詰まっています。子供たちは大喜び。贈り物はサンタクロースからではなく、「聖ニコラウス」からのものです。ニコラウスは良い子にはプレゼントを置いていきますが、悪い子のもとには小枝のムチを持って現れ「おしおき」をしていきます。プレゼントやおし

おきのどちらかだなんて、子供たちにはちょっとドキドキの朝ですね。だからといってニコラウスは決して怖いおじさんではありません。子供たちがみんな良い子であるように願ってのことです。さて、この日は子供だけがプレゼントをもらう日ではありません。大人たちの間でもプレゼントを渡し合います。というわけで、今年はクリスマスだけでなく12月6日にも誰かにプレゼントをおねだりしてみたいかながらう。

ウリさんの『クリスマスの旅』

～ お楽しみクリスマス会 ～

ドイツ流のクリスマスを体験してみませんか？

日時 12月15日(土)

場所 保健福祉センターきらら館

午前の部は親子10組、午後の部は大人の方20名（お子さん同伴でも可）を募集します。参加費は子ども300円、大人500円です。参加を希望される方は、12月10日(月)から14日(金)までに市国際交流協会事務局（生活課内 ☎40-5555）まで申し込みください。

< 午前の部 >

午前9時30分～正午

親子で クリスマスクッキー作り

昨年も好評だったドイツで有名なクリスマスクッキーを今年は親子で楽しく作りましょう！

親子10組

< 午後の部 >

午後1時30分～4時

大人のための グリュウワイン作り

ドイツのクリスマスには欠かせない甘くてHOTな赤ワインをクリスマスクッキーと一緒に楽しみましょう！

大人20名